

- 1 「う～寒つー最近はかなり冷えてきたな～」
- 2 「帰つたら何かあつたかいものでも飲んで…」
- 3 【エレベーターのSE】
- 4 「…あ、誰か乗つてくる?」
- 5 「…んん? あればもしかして…」
- 6 「…やつぱり! 弟くんだ!」
- 7 「久しぶりー! しばらくみない間に大きくなつたね～!」
- 8 「え～と確か十二階だつたよね。」
- 9 【ボタンを押すSE】
- 10 「ふふつ、もしかして私のこと忘れちゃつた?」
- 11 「あははー! そんなわけないか、昔は毎日のように遊んでたもんね。」
- 12 「私が中学に上がつてからはほとんど会つてなかつたし…ほんつと久しぶりだね。」
- 13 「あつー良かつたら部屋に上がつてこない?」
- 14 「せつかく久しぶりに会えたんだしもう少し話したいな～って…」
- 15 「…良いじやん良いじやん! ちょっとだけだからさー!」
- 16 【エレベーターが停まるSE】
- 17 「うわ! びっくりした!」
- 18 「あ～エレベーターが止まつちやつた感じか…」

19 「老朽化かな？最近よく止まるって聞いて…」

20 「ちょっと待ってね、管理室に連絡を取ってみる…」

21 「えーと…このボタンかな？」

22 「あつ、繋がった」

23 「すいません…はい、エレベーターが止まってしまった…」

24 「…はい、よろしくお願ひします。」

【通信が切れるSE】

25 「業者に確認が取れ次第連絡が返ってくるみたい。」

26 「伸びをするように」「ん~! それまでは待つしかないかな~」

27 「…あつ…昔もこんな状況なかつたっけ？」

28 「まあ結果的に君と話せるならこんなトラブルも悪くないかな？」

29 「ほらー子供の頃今みたいに閉じ込められてさ。」

30 「…あつ…昔もこんな状況なかつたっけ？」

31 「ほらー子供の頃今みたいに閉じ込められてさ。」

32 「…あはは…じめんじめん…思い出したくない話だつたよね。」

33 「ふふつ、今日も我慢できなくなつたらお姉ちゃんに言つんだ

34 「あははー! 冗談冗談!」

35 「よ?」

36 「…んつ…」

37 【衣服が擦れるSE】

(「と…そんな話をしたら私が催してきちゃった…）

「んんっ…んっ…」

(そういうえば学校を出る前もトイレに行つてなかつたな…)

「…んんっ。」

(すぐに復旧すると思うし…大丈夫だとは思うけど…)

「小声」「んんっ…早く治らないかな…」

「…なんでもない…連絡が来るまでお話ししてよっか！」

〈時間経過四秒ほどあける〉

「…あははー懐かしへそんなこともあつたねー！」

47 46 45 44 43 42 41 40 39 38
「…少し一息ついた瞬間尿意を感じるイメージ」／「はあー、…ん
んっ。」

48 【衣服が擦れるSE】

(んんっ…結構催してきちゃつた…)

(エレベーター内は冷えるし…それもあって余計…)

「んんっ…んっ…はう…」

(意識したらダメだ…気をそらさなきないと…)

「それについていうやつて話すのはほんと久しぶりだね、なんで会
わなくなつちゃつたんだっけ？」

54 「…あー部活入ったんだ！確かに朝練とかあるとなかなかすれ違わないね。」

55 「あとは…あ～私に彼氏が出来たのも原因か…」

56 「あはは…ごめんね、彼氏がすごい束縛気質でさ、君と会うのもダメって感じで…」

57 「君は弟みたいなものだし心配しないでって言ったんだけどね…」

58 「…ん？なんか残念そうな顔してない？氣のせい？」

59 「…んんっ。」

60 【衣服が擦れるSE】

61 （うう…そろそろきつい…連絡はまだかな…）

62 【連絡SE】

63 「…あつーやつときたー！」

64 （危なかった…これ以上は我慢できなかつたかも…）

65 「はいーはい、はい…」

66 ヘショックを受けるように「えつ…本当にですか…？」

67 「はい、わかりました…」

68 【連絡切るSE】

69 「…なんか今日は業者が休みみたいで、対応が遅れるってさ。」

70 「あと一十分くらいうらしきけど…んんっ…」

71 【衣服SE】

(うつ…尿意の方が…無意識に体も動いちゃうし…)

【衣服SE】

「…んんつ…、んつ…あう…」

「…いや、体調が悪いとかではないんだけど…んんつ…」

「…言い出しひくそうに…」「その…ちょっとトイレに行きたくて…」

(う…恥ずかしい…私の方がお姉ちゃんなのに…)

「…んんつ…でも大丈夫、我慢できないわけじゃないから。」

(…ほんとはかなり限界だけど。)

「…んんつ…早く復旧しないかな…」

〈時間経過、四秒ほどあげる〉

81 80 79 78 77 76 75 74 73 72
「はあ…」はあ…」

【衣服SE】

「はう…んんつ…」

「遅い…まだ治らないの?」

「もう…」十分近く待ってるのに…あう…

(まづい…もうそろそろ我慢が…)

「はあ…はあ…んんつ…」

【連絡SE】

89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78 77 76 75 74 73 72 71

90 「……わたー！」

91 「はいーはい、……えーーー」

92 ヘショックを受けるように「そんな……んんつ……」

93 「……わかりました、なるべく早くお願ひします……」

【連絡切るSE】

95 「んんつ……泊るのにもうちょっとかかりそうだつて……」

96 「……うん、具体的に何分くらいかはわからないみたいで……はう……」

【衣服が擦れるSE】

98 「（なんとか十五分くらじなら我慢できそうだけど……もしそれ以上かかるとしたらい……）

99 「はう……んんつ……」

100 「（そうなつたら私、弟くんの前でお漏らしを……）

101 「（……へー弱気になっちゃダメーー）の年になつてお漏らしなんて……

そんなこと絶対……」

102 「はあ……はあ……んんつ……」

103 「（とにかく……今は変なことを考えずに我慢に集中しないと……）

104 <時間経過四秒ほどあげる>

105 「はあ……はあ……」

106 【衣服SE】

1-07 「まだ…まだなの…？」

1-08 「これ以上は本当に…んんつ…」

1-09 <小声> 「あつ…やばつ、波が…。」

1-10 【おちびつSE】

1-11 「くわ…んんつ…」

1-12 「出るな…んんつ…」

1-13 「ふう…ふう…んんつ…」

1-14 (もつむり…本当におじっこ漏れちやつ…)

1-15 「…うーゞ、ダメん一変な姿見せちやつて…」

1-16 (恥ずかしい…がちゅうせで抑えないと我慢ができないし…)

1-17 「はあ…はあ…んんつ…」

1-18 【衣服のSE】

1-19 (う…え…じてもんわしちやつ…)

1-20 <小声> 「おじっこ…おじっこ…」

1-21 「はあ…はあ…んんつ…」

1-22 (弟くんがお漏らししたことをじじつでおこで、私が我慢できな
いなんて…)

1-23 (しかもあの頃は子供だったけど今は…)

1-24 (んんつ…絶対に我慢しないと…)

1-25 「はあ…はあ…んぐり…」

1-26 「あ、また波が…」

1-27 【おちびつSE】

1-28 「あう…！だ、ダメつ…！」

1-29 「止まれ…！くうつ…！」

1-30 「はあ…！はあ…んんつ…！」

1-31 「下着が熱い…ちょっと漏らしちゃった…」

1-32 「これ以上は本当に…漏らしちゃいならせめて…」

1-33 「はあ…はあ…んんつ…！」

1-34 「でも」の方法は…「くら仲の良い弟君の前とは…」

1-35 「あう…！んんつ…！」

1-36 「ふう…！ふう…！んんつ…！」

1-37 「うう…！背に腹は変えられないか…」

1-38 <以下同じ出しにへそうに>

1-39 「んんつ…あ、あのや…」

1-40 「そ、その…私…もう我慢できなくて…」

1-41 「あつ…えつと…んんつ…！」

1-42 「うう…！その…！」、こゝでしてもいいかな…？」

1-43 <同じ>「あ、また波が…！」

—44 「……んんっ、ダメんね……」

—45 「はあ……はあ……あつち向こうでてもひつてもここかな……」

—46 (は、恥ずかしい……)

—47 (けど緊急事態だし……漏らすべからざり……—)

—48 「せめてビニール袋か何かに……」

—49 【ガサガサSE】

—50 「はあ……はあ……んんっ……」

—51 「あれ……？ 確かカバンにあつたきが……んんっ……」

—52 「……あつた……」、これで……はう……」

—53 「もつと無理つ……おつり出ちゃう……漏れちやう……」

—54 「早く……下着をおろして……」

—55 「はあ……はあ……耳塞いでる? 聞こえてない?」

—56 「……つて返事したつて」とは聞こえてるじゃん……んんっ……」

—57 「あつ……むつ……も、もつ出る……」

—58 【少量おじつSE】

—59 「んんっ……」

—60 【Hレバーターが動くSE】

—61 「ひやう……えつ……な、なに……」

—62 「あつ……体制が……で、でちやダメー……」

一〇三 【会場挨拶】

- 一〇四 「あい……と、おまつり……おまつり……」
- 一〇五 「あい……んじ……い……」
- 一〇六 「さあ……さあ……なにか出ました……」
- 一〇七 「……あいの回りで……」
- 一〇八 (ハハ……)の恰好を見られた……」
- 一〇九 「……動き回り……複雑でした……」
- 一一〇 「さぐり……な、なのやい数十秒ドーム……」
- 一一一 「な、なり我慢……」
- 一一二 「はあ……はあ……んじ……」
- 一一三 「鍵を出し……着も戻し……」
- 一一四 「ふう……ふう……んじ……」
- 一一五 「5…4…3…2…1…」
- 一一六 「ついた一時マーチ……」
- 一一七 「んじ……開くのが遅い……」
- 一一八 「……んじ……なんで? 扉が途中で止まつて……」
- 一一九 「やだ……ハヤハヤ……なんじ開かないの……」
- 一一〇 「開いて……開いて……が……わい本物にねついたが……わい
- 一一一 「……」

一〇一【お漏りSE】

- 一〇二 「あつ…一だめつ…今度は本当に…」
- 一〇三 「あつ…あつ…あつ…め、かく玉ね…玉ひや…」
- 一〇四 「やだやだやだーお、おひつじ漏れちやつ…一はう…」
- 一〇五 【お漏りSE】
- 一〇六 「あつ…一あつ…一あつ…一…」
- 一〇七 「えつ…うれつ…本当に丑ちやつ…んつ…」
- 一〇八 「あつ…一とま…上まんない…」
- 一〇九 「んんつ…一やだ…一君の田の前で…んな…はつ…」
- 一〇〇 「ほぐつ…むつじめに力が…んんつ…」
- 一〇一 「あつ、あつ、ああ…」
- 一〇二 「むつじ…一回出たひ…上まんない…」
- 一〇三 「はあ…一はあ…」
- 一〇四 「はあ…はあ…」
- 一〇五 「あつ…靴下までびしょびしょい…」
- 一〇六 「結局…我慢できずに漏りしちやつた…」
- 一〇七 「こんなことなら…せめてゼーラー袋にしておけば…」
- 一〇八 「変なところに意地をはつて…お漏りしなんて…私…」
- 一〇九 「ぐず…ぐめん…こんな…こんな情けない姿を見せ…」

200 「えぐつ……ぐず……えぐつ……ぐずつ……」

201

202

203

204

205

206

207 【エピローグ】

208 「……お風呂、ありがとうね……」

209 「うう…まさかあの時の逆で君にお世話になるなんて……」

210 「いや…あの頃と違つてもう大人だし余計恥ずかしいよ……」

211 「…ありがとね、助けてくれて。」

212 「じゃあ私はその…エレベーターの方を掃除しに…」

213 「…えつーお風呂に入つてゐ間に掃除してくれたのー?」

214 「あつ、いやその…すゞくありがたいんだけど…うう…」

215 〈小声で〉「わ、私のおしつこを処理されたと思つと…」

216 「うううなんだか複雑な気分…」

217 「…とにかくありがとう、今度何か奢らせてよ。」

218 「…いーからー逆に奢らせてくれないと私がもやもやするのー!」

219 「そのかわりー今日あつたことは一人の秘密だからねーお母さん
にも内緒！」

220 「ふふつ、ありがと。それじゃあまた今後ね。」

221

222

223